

KRP地区のあゆみ

京都リサーチパークができるまで

京都リサーチパークが開設されるずっと前、この地はどんな場所だったのか…

20年のあゆみをふりかえる前に、この地に京都リサーチパークができるまでの歴史を平安時代からさかのぼります。

平安貴族の邸宅

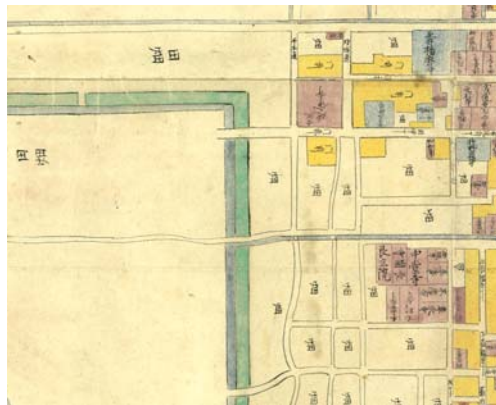
京都リサーチパーク開発前の1988(昭和63)年に実施された発掘調査によってこの場所は平安貴族の邸宅であったことがわかりました。文献史料がなく、誰の邸宅かは分かっていませんが京都リサーチパーク東地区全体に及ぶ広大な宅地をもっていたとすると、上・中級の官人だったと考えられています。この場所は平安時代の呼び方では、右京六条一坊五町にあたり、近くに西鴻臚館(現、中央市場付近)がありました。邸宅は9世紀中頃の、「寢殿造り」のもので、周囲の各所に雑舎が建ち井戸もありました。青磁・土師器(はじき)等の食器類、他に硯、貨幣、石帯等が出土されています。また、2008年には右京六条一坊十四町だったとされる西地区でも建物建設に先立って発掘調査が行われました。この調査でも主に9世紀代の建物遺構が検出されています。



平安貴族のくらしと文化展示室<東地区>
寢殿を中心とする表(ハレ)と裏(ケ)の場を含めた邸宅全体の復元模型がご覧いただけます。
※この展示室はどなたでも入室可能ですが事前予約が必要です。

都市近郊の農村

都の中心が東へ移るにつれ、近世以降このあたりは葛野郡中堂寺村と称されていました。18世紀頃の様子のわかる京都明細大絵図からみるとこの地は農村であったことがわかります。都の中心に近かったこともあり稲作ではなく、都でよく消費される野菜(そさい)を作っていたようです。



京都明細大絵図<京都市歴史資料館所蔵>より

近代化—京都競馬場からガス工場

1889(明治22)年の市町村制施行により、全国的に町村合併が行われ、中堂寺村もいくつかの村と併せて大内村となりました。1907(明治40)年には島原競馬場が開設されました。しかし、この競馬場は大正元年の火災により炎上、焼失。その後は京都府船井郡須知町(現京丹波町)に移転しこの跡地を京都瓦斯(株)(後、大阪瓦斯会社と合併)が買収しました。1918(大正7)年4月1日には葛野郡大内村外15カ町村の京都市への編入が実施。昭和になると1928(昭和3)年には大阪ガスの京都工場が建設、その前年には近隣に全国初の中央卸売市場が開場され、この界限は大きな変貌をとげようとしていました。



1959(昭和34)年頃

大阪ガス京都工場跡地の遊休地活用プロジェクト

京都に都市ガスを送り続けてきた基幹工場でもある京都工場は、天然ガス転換により操業開始から50年目の1978(昭和53)年、一部のガス供給施設を残してその使命を終えました。1982(昭和57)年には6.5haの巨大な遊休地を活用するためのプロジェクトが発足。そこには当時、経済界のリーダーとしてベンチャー育成の重要性を唱えていた(株)堀場製作所会長(現最高顧問)、堀場雅夫氏もいました。そして大学、行政、産業界が一体となり討議を経る中で、米国のリサーチパークに注目。フィラデルフィアのユニバーシティ・シティ・サイエンス・センター(UCSC)をモデルに具現化に入りました。

そして1989(平成元)年、公的産業支援機関の移転、開所など行政の積極的なバックアップも得て全国初の民間運営によるリサーチパークが誕生したのです。



詳しくは「KRP誕生物語」をご覧ください。
http://www.krp.co.jp/pub/bn_prs/prs/_15/prs15_1.html



(財)京都高度技術研究所

設立 1988年 開所 1989年
設立当初の職員数 16人→現在 130人
専務理事 白須 正

設立経過、そのころの京都経済

設立の検討が始まった1985(昭和60)年頃の京都経済は、観光客数、伝統産業の伸び悩みにより、新たな産業の振興が大きな課題でした。当時、マイクロコンピュータをはじめとする情報技術が飛躍的に発展しており、こうした先進技術を積極的に活用し京都産業の競争力を高めるために、産学連携による全国でも例のない研究所がこのKRPの土地に建設されたのです。

専務理事に就任して

私は78年に京都市入庁後、産業観光局に8年間配属、2002年度から3年間はASTEMを所管するスーパーテクノシティ推進室の室長でしたのでずっと身近にKRPの発展を見ておりました。しかし07年度に専務理事に就任してからはまた色々感じるがあります。KRPは雰囲気もよく私も気持ちよく仕事をしていますが、折角、これだけの企業が集積しているわけですから、もっと仕事で相乗効果が発揮できるのではないかと思います。また、飲食店も含め、入居者が気軽に集まれるコミュニティスペースが少ない気がします。

これからのASTEM

ASTEMは昨年10月に20周年を契機に中期ビジョンを策定しました。京都市と一体となって、目利き委員会Aランク認定企業の支援、ICTの活用による地域の活性化や市民生活の向上など、様々な新事業創出のための取組を進めることで新たな飛躍を目指しています。

最後に

KRPは民間リサーチパークですが、公的産業支援機関が集積した、まさにオール京都の力が結集する地域。このことを入居者全員が自覚し、20年を契機に、世界最高レベルのリサーチパークをつくりあげるために頑張りましょう。